

在日ウクライナ大使館よりオブジェ「THE HOPE」の寄贈を受けました。

合同美術展の関連行事としてウクライナ出身の美術家ゾヤ・スコロパテンコさんのワークショップが、11月21日(土)に相馬高校美術部や相馬市内小・中学生を対象に行われました。

また、ゾヤ氏は11月15日(日)にも来校され、自作のオブジェ「THE HOPE」を制作しました。相馬市内の自然石を使い、福島県の鳥「キビタキ」をモチーフとしたブロンズ像を配しています。素材となった自然石の運搬・設置には市内の卒業生の協力を得ました。

寄贈の式典が11月21日(土)に相馬高校校長室にて行われ、ゾヤ氏のほか、在日ウクライナ大使館ユーリ公使、奥村馬城会長出席のもとに行われました。

▲左から4人目が制作者のゾヤ氏。オブジェは相馬高校音楽室前に設置されました。

